

はじめに



市民一人ひとりがふるさと北見に誇りを持ち、次世代を担う子どもたちが健やかに成長し、高齢者や障がい者が心豊かに、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることは市民共通の願いです。

市では、平成18年2月、「ふれあって 支えあって 助け合って・・・どんなときも みんなの笑顔が輝くまちをつくります」を基本理念とする第1期北見市地域福祉計画を策定しました。

地域福祉が目指すものは、地域住民の自主的・積極的な社会福祉への参画です。また従来の福祉サービスが行政主導で進められるイメージが強いことに対し、地域福祉推進の主役は、地域住民一人ひとりであるとの視点に立つことが重要であることから、計画策定にあたっては、日々、より良い地域づくりに取り組まれている町内会（自治会）関係者をはじめ、高齢者団体、障がい者団体、民生委員児童委員、社会福祉関係事業者など多くの方々の参画のもと、様々なご意見やご要望をいただき、今後の地域福祉のあり方を住民視点で検討しました。

この第1期計画の策定から10年が経過し、この間、市町村合併の実現など、市を取り巻く社会経済環境は大きく変貌しました。首都圏への人口流出が止まる気配を見せない中で、地方における人口急減社会への対応は急務であり、市民の皆さんとともに考え、議論し、この難しい局面に対処していかなければなりません。

今般策定した『第3期北見市地域福祉計画』は、今後5年間の地域福祉を考え実践するための道筋を示す重要な処方箋であり、北見市まちづくり基本条例に掲げた基本理念を具現化するものであります。

結びに、第3期計画の策定にあたり、熱心に議論を重ね貴重なご提言並びにご協力を賜りました策定委員会委員の皆さんをはじめ、地域福祉を考える住民懇談会において貴重なご意見を頂いた市民の皆さんに厚くお礼と感謝を申し上げますとともに、本計画が目指す「心ふれあうまちづくり」に対し、市民の皆様のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年3月

北見市長 辻 直孝